

事業目的

ブリッジ・クラウン・ベニアといった、大きな形態修復を伴う歯の治療には、現在セラミックスを用いることが主流であるが、健康な歯を削る必要がある。最小限の侵襲（MI）の歯科治療を実現するためには、歯質に直接接着するコンポジットレジン（CR）治療が有用であるが、口腔内での形成に長時間かかり、また仕上がりが術者の技量に左右されることから、CR治療は本格的に普及していない現状がある。
当社は、徳島大学発のデジタル技術を用い、CR治療を短時間・高品質で実現するインデックス（型枠）をオーダーメイドで作成し、歯科医院に提供しており、世界に歯を削らない治療を広げようとしている。

事業内容

今後の製品販売拡大のため、インデックス生産やCR修復時の重合収縮等の影響による、設計歯列と修復歯列の精度誤差の定量化・最小化（目標0.1mm以内）に取り組む。
また、歯列設計工数を低減し、原価低減や生産能力拡大を実現するため、歯列設計を支援するソフトウェアを開発し、工数の削減を目指す（目標30%工数削減（対象：ブリッジのみ））。
同じく、インデックス設計工数を低減する、インデックス設計ソフトウェアを開発する（目標70%工数削減）。

事業成果

本研究開発において、透明なインデックスでの製品化に成功。設計誤差が生まれる要因を複数パターンで確認し、設計工程にフィードバック中。
歯列設計を支援するソフトウェアは開発中。自動での噛み合わせ調整機能はほぼ完成。
インデックス設計ソフトウェアについても開発中。一旦のプロトタイプはほぼ完了し、大幅な時間削減が期待される。

事業者情報

株式会社amidex
(徳島大学発スタートアップ)

所在地：徳島県徳島市
設立年：2023年
HP：
<https://amidex.co.jp/>



概要図等

